



Economics

経済学部

地域に根ざし
世界に羽ばたける人材を
育てる

大分で、日本で、 世界で活躍することをめざして



経済学部長
高見 博之

2022年に創立100周年を迎える経済学部は、2万人を超える卒業生を社会に送り出してきました。経済学部では、経済学、経営学を中心とした社会科学の様々な分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学修することを通じ、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するために必要な基礎的能力を高めることを通じ、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することを目的としています。

2017年に、教育内容をさらに充実させるため「社会イノベーション学科」を新設しました。同時に学部全体として学際的・総合的な科目が履修できるようカリキュラムを編成しています。新しい「社会イノベーション学科」では、企業、行政あるいは組織間で、イノベーションを手がかりとして社会の課題解決に向き合う人材を養成することを目的とし、2021年3月に最初の卒業生を送り出すことができました。

経済学部の教育の大きな特徴は、次の3つです。まず、4年間の卒業までのすべての学期に少人数編成の演習科目を配置し、きめ細かな指導を行っています。次に、1年間留学しても4年間で卒業できるIBP（インターナショナル・ビジネス・プログラム）などの国際化に対応した教育を展開しています。最後に、四極会（経済学部同窓会）寄附講義「会社研究」をはじめ多くの社会人講義を通じて、社会の第一線で活躍される講師陣による経済社会の現場を知る機会を提供しています。

これらの多彩な教育内容に加えて、卒業生からの寄附による独自の奨学金や就職支援室による就職サポートといった学生支援体制も整っている経済学部でみなさんをお待ちしています。

入試の種類

- 学校推薦型選抜
- 総合型選抜
- 一般選抜(前期・後期)
- 特別入試
(帰国子女入試・社会人入試・
私費外国人留学生入試)

経済学部の学科 ※所属学科は、2年次のはじめに振り分けます。

経済学科
[定員90名]

家計、企業、政府など経済主体の行動が生み出す経済現象、およびそれら相互の関係を分析します。

経営システム学科
[定員80名]

企業の経営組織、管理技術、財務分析、人事労務管理、会計などの科目を学習し、広く経営活動を理解します。

地域システム学科
[定員80名]

地域経済、法律、行政、福祉など住民の生活領域を総合的・学際的に学びます。また、異文化間コミュニケーションと国際相互理解を深める実践的な学習を行います。

社会イノベーション学科
[定員40名]

企業経営上の革新や、行政やNPO等による地域社会の課題解決について、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、基礎から応用・実践まで段階的に学びます。

経済学部の教育

一人ひとりの個性を伸ばす
少人数教育

経済学部では、セミナー・演習による少人数教育に力を入れています。1年次から4年次まで、どの学期にもセミナー・演習があるのは本学部の特徴です。

セミナー・演習は、教員と学生、学生同士の集団的なやり取りの中で、学生自らが主体的に参加する実践的な授業科目です。基礎的な知識・理論・知的技法を習得するとともに、学生自身が自らの問題意識や課題を発見して学習すること、また報告や討論する力を伸ばすことが重視されます。

国際社会で通用する人材を目指して
IBP
インターナショナル・
ビジネス・プログラム

協定校への半年から1年間の留学による単位取得を柱として、国際社会で活躍できる人材の育成を目指すプログラムです。(※)

- 留学前 / 留学希望の学生は、1年次より演習などの教育上の支援制度に基づき、留学への準備を進めます。
- 留学中 / 留学中も所属する演習の担当教員からWeb等で指導を受けます。交流協定校で履修した単位は、卒業要件上の単位として認定されます。
- 帰国後 / 留学成果を卒業論文などに反映させるよう取り組みます。卒業とともに、本プログラムの修了を証します。

※本プログラムでの留学に関しては、JASSO日本学生支援機構の特別奨学金および下記の経済学部「久保奨学基金」など、いずれも返済義務のない給与奨学金制度を整備しています。

学生力を磨けば、伝統がバックアップ！
経済学部 **就職支援室**

経済学部就職支援室は、就職委員の教員と職員スタッフから構成され、就職ガイダンスや学内会社個別説明会の開催、エントリーシートなどの個別指導、企業訪問による求人開拓、ゼミ訪問等の活動を通じて、学生の就職活動をサポートしています。就職環境に関わらず90年を超える伝統に支えられた信用により1,300件を超える求人が寄せられ、地元大分はもちろん、九州各県から京阪神や東京で数多くの先輩が活躍しています。

大分大学経済学部久保奨学基金 大分大学経済学部では、成績優秀者や海外留学生に奨学金を支給(返済は不要)しています。

成績優秀な在学生(2~4年生)に対する奨学金	選抜方法:提出書類(当該年度の学習・生活計画)、成績点、面接によって選抜	●人数:入学年度ごとに各3名(計9名) ●給付額:1人年額60万円 ●期間:1年間 ●給付回数:奨学金の受給は在学中2回まで
IBP学生の留学期間中の奨学金	対象:本学部留学生でインターナショナル・ビジネス・プログラム(IBP)に登録し、派遣留学生として海外留学する者のうち、留学期間に関して学内外の他の奨学金を受けていない者	●人数:10~20名程度 ●留学期間1セメスター:24万円 ●留学期間2セメスター:48万円

(支給額は前年度の実績です)

経済学科

グローバル化された社会で活躍する人材を養成します。

■カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ●全学共通科目 ●外国語科目 ●導入教育科目 			
専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●専門基礎科目 ●経済学入門 ●初級ミクロ経済学 ●初級政治経済学 ●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門 ●イノベーション・マネジメント入門 		<p>Pick up</p> <p>世界経済論</p> <p>世界経済を理解する上での基礎理論を学び、世界経済の構造や現状の理解を深め、幅広い観点から「世界経済を見る眼」を養います。</p>	<p>Pick up</p> <p>政治経済学</p> <p>現在の経済の仕組みである資本主義がどのように成立し、どのような特徴を持っているのかを歴史的・理論的に明らかにしていきます。</p>
専門教育科目	<p>Pick up</p> <p>金融論</p> <p>貨幣・金融の概念、金融制度、金融行政・政策を学ぶとともに、80年代以降の金融市場の変化と実体経済における金融の役割を検討します。</p>	<p>専門教育科目</p> <p>●開発経済論 ●西洋経済史 ●世界経済論 ●中級ミクロ経済学 ●中級マクロ経済学 ●政治経済学 ●金融論 ●グローバル化と政治経済 ●経済政策論 ●日本の社会保障 ●証券論 ●計量経済学など</p>		
		●中級セミナー	●演習	●卒業論文
		●学部共通科目	●インターンシップ	

専門教育科目

基礎経済論講座

政治経済学Ⅰ・Ⅱ／初級マクロ経済学／中級ミクロ経済学／中級マクロ経済学／応用ミクロ・マクロ経済学セミナー／現代資本主義論／計量経済学／経済数学／経済学史／統計学／経済統計学

学びの内容 経済分析の基礎となる諸理論について、学説史を含めて検討するとともに、理論モデルに基づいて現実の経済社会を実証的に分析するための計量的手法について学習します。

比較経済論講座

経済学国際セミナー／海外キャリア・ディベロップメント・ワークショップ／国際貿易論／世界経済論／開発経済論／アジア経済発展論／EUの政治経済／グローバル化と政治経済／現代国際関係論／現代国際関係学／経済地理学Ⅰ・Ⅱ／労働経済論Ⅰ・Ⅱ／労使関係論／西洋経済史／日本経済史Ⅰ・Ⅱ／経済史／日本経済論／環境の経済学

学びの内容 本経済の構造およびそれを取り巻く世界経済の構造や国際関係などについて、歴史的、構造的に分析し学習します。

経済政策論講座

経済政策論Ⅰ・Ⅱ／産業組織論／公共経済学／社会政策／セミナー「働くということと労働組合」／社会保障論／日本の社会保障／財政学Ⅰ・Ⅱ／金融論Ⅰ・Ⅱ／国際金融論Ⅰ・Ⅱ／証券論／証券市場論

学びの内容 経済社会運営のための諸政策について、理論的、実証的に分析し、経済・社会政策、産業政策から財政・金融政策に至る広域な政策論を多面的に学習します。

PICK UP LABORATORY 研究室紹介



柴田茂紀ゼミ

研究テーマ
世界経済論

柴田 茂紀 准教授
Associate Professor. Shigeki Shibata

担当科目/世界経済論・国際貿易論

日本で「当たり前」のことも、別の国で「考えられない」ことは沢山あります。もちろんその逆も。世界経済は、各国・各地の共通点・相違点・異質性等が組み合わさり、各国・各地の多様なヒト・モノ・カネが混ざり合って成立しています。そのつながりは、まるで化学反応のように新たな現象を生み出し、私たちの生活にプラスになることもマイナスになることもあります。世界経済論の枠組を使いながら、1)各国・各地の共通点や相違点と、それがなぜ生じたのか、2)各国・各地の多様なヒト・モノ・カネがつながって、どのような経済現象を生み出してきたのか、3)各国・各地で生じる経済問題はどのように調整できるのか等を研究していきます。

経営システム学科

経営について適切な分析と解決策を提案できる人材を養成します。

■カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ●全学共通科目 ●外国語科目 ●導入教育科目 			
専門基礎科目	専門基礎科目 ●経済学入門 ●初級ミクロ経済学 ●初級政治経済学 ●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門 ●イノベーション・マネジメント入門		Pick up 経営組織論 企業組織についてその本質や機能に対する理解を深め、長期的な発展や成長を目指す組織のあり方を、実例をふまえて学びます。	Pick up 交通論 ヒト・モノの移動に関する、地域・社会の諸問題や、これらの問題に関係する主体・組織・経営行動・政策のありかたを、社会科学や社会学の手法を用いて考えます。
専門教育科目	Pick up 原価計算論 本講義では、企業内の様々なコストを計算する方法を学習します。どのコストが高いか低いかを示すことで、経営者や従業員に仕事の仕方自体を変えていくよう仕向けることができます。	専門教育科目 ●経営組織論 ●経営情報論 ●経営学 ●企業論 ●交通論 ●マーケティング論 ●原価計算論 ●経営戦略論 ●人事システム論 ●企業ファイナンス論 ●会計学など		
		●中級セミナー	●演習 ●インターンシップ	●卒業論文
		●学部共通科目		

専門教育科目

経営基礎論講座

経営学Ⅰ・Ⅱ／基礎経営論Ⅰ・Ⅱ／経営史／企業論／企業組織法Ⅰ・Ⅱ／経営情報論Ⅰ・Ⅱ／経営組織論／流通論／マーケティング論／国際経営論

学びの内容 企業経営や経営学の発展、会社組織や会社形態、経営戦略や経営心理の基礎、商業流通の原理を学習します。

経営行動論講座

産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ／経営戦略論／人事システム論Ⅰ・Ⅱ／企業ファイナンス論／交通論Ⅰ・Ⅱ／物流概論／国際物流論／企業取引法Ⅰ・Ⅱ

学びの内容 より実践的に、企業ファイナンス、交通、物流などを学習します。

会計情報論講座

会計学Ⅰ・Ⅱ／会社会計論Ⅰ・Ⅱ／監査論Ⅰ・Ⅱ／管理会計論Ⅰ・Ⅱ／原価計算論Ⅰ・Ⅱ／会計情報システム論／初級簿記／中級簿記／実践経営分析論Ⅰ・Ⅱ／上級簿記

学びの内容 会社経営に欠くことのできない会計データの作成技法である簿記から入門し、会計の理論と規則、外部への会計報告や監査、内部の管理に役立つ製品原価の計算や計画設定、経営分析などを学習します。



PICK UP LABORATORY 研究室紹介



井川純一ゼミ

研究テーマ
産業・組織心理学

井川 純一 准教授
Associate Professor, Junichi Igawa

担当科目/産業・組織心理学、
社会心理学、心理学概論

皆さんは、旅行先で気分が高揚してしまい、普段なら買わないお土産を購入した経験はありませんか？また、ゴミ拾い等、良かれと思ってやったことを誰かに褒められた結果、逆にやる気を失ってしまった。このように計算できない人々の「こころ」の仕組みを明らかにしようとするのが当ゼミの目標です。現代の産業社会は大きな変貌を遂げつつあります。それに伴って働く人々の意識や行動にも様々な変化が生じており、これらの心理的影響はさらに大きくなっていると言えるでしょう。当ゼミでは、社会心理学や産業・組織心理学の基礎理論をベースに様々な研究テーマを設定し、心理学的視点から産業社会の構造や人々のこころについて研究しています。

地域システム学科

地域社会の再生・活性化のためにローカルな実践ができる人材を養成します。

■ **カリキュラム** ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 全学共通科目 ● 外国語科目 ● 導入教育科目 			
専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済学入門 ● 初級ミクロ経済学 ● 初級政治経済学 ● 経営学入門 ● 会計学入門 ● 法学入門 ● 地域学入門 ● イノベーション・マネジメント入門 		<p>Pick up 情報社会論 現代社会におけるメディア環境の変化をふまえ、情報と人、社会との関わり、コミュニケーションのあり方について社会学の立場から学びます。</p>	<p>Pick up 都市経営論 保育などの地方公共サービスにおける質と効率の両立、ごみ減量対策、インフラ老朽化やコンパクトシティなど幅広く自治体行政改革の課題を考えます。</p>
専門教育科目	<p>Pick up 地方行政論 現代の地方行政活動の法的諸問題を体系的に解明し、地方行政への関心を深めます。さらに、リーガルマインドの涵養を目指しています。</p>	<p>専門教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代英語論 ● 情報社会論 ● 現代ヨーロッパ社会論 ● 異文化理解ワークショップ ● 地域構造論 ● 地方行政論 ● 都市経営論 ● 農村発展論 ● 地域福祉論 ● 民法 ● 経済法 ● 労働関係法 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中級セミナー ● 演習 ● インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業論文
		● 学部共通科目		

専門教育科目

地域情報文化論講座

情報社会論／メディア文化論／異文化間コミュニケーション論／多文化共生論／現代英・米社会論／英・米文化論／現代英語論／社会言語論／ヨーロッパ文化論／現代ヨーロッパ社会論／アジア文化論／現代アジア社会論／英語コミュニケーションセミナーI・II／地域文化資源論／異文化理解ワークショップ

学びの内容 異文化間コミュニケーション論、英米アジアなど各地域の言語文化論などを学習し、多文化共生社会の基盤を学ぶとともに、実用的な外国言語の運用能力の養成と向上を目指します。

地域経営論講座

地域経営論I・II／都市経営論I・II／地域分析論I・II／地域構造論I・II／地域発展論I・II／農村発展論I・II／農村再生セミナー／地域と商業／地域と交通／地域福祉論／公的扶助論

学びの内容 地域の経済社会の構造、都市と農村の現代的問題とその対応策、地域の生活、福祉の実情を調査研究し、課題と対応策などを中心に学習します。

地域行政論講座

地方行政論／地方財政論／憲法I・II／民法I・II・III・IV／労働関係法I・II／消費者と法／経済法／犯罪と法／行政法／租税法

学びの内容 行政学、憲法、行政法などの様々な分野から、今日の地域社会における地方行政の諸問題を究明するとともに、民法、労働法など私法分野の学習から、地域社会における経済活動や市民生活に関する法的な諸問題を研究し学習します。

PICK UP LABORATORY 研究室紹介



外戸保大介ゼミ

研究テーマ

成熟産業地域の再生に関する進化経済地理学的研究

外戸保 大介 准教授
Associate Professor, Daisuke Sotohebo

担当科目/地域経営論、都市と産業の地理学

日本や欧米諸国では、産業地域の多くが成熟化し、その再生に向けた方策が求められています。私は、このような成熟産業地域の再生に関して、地域の進化過程に着目して研究を進めています。地域を再生するためには、地域資源を活用し、地域イノベーションを効果的に進めていくことが重要です。地域問題を解決するための処方箋は、One size fits allではありません。地域では、住民、自治体、企業、NPOなど多様な主体が関係を構築し、経済・産業、社会、文化、政治などが形作られています。地域の福祉や環境、ジェンダー、格差などに配慮しながら、国内・国外や周辺地域との関係を踏まえた仕掛けづくりが必要です。持続可能な地域経営の在り方を検討しています。

社会イノベーション学科



サービス開発・まちづくりの知見を備え地域活性化に貢献できる人材を養成します。

■カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ●全学共通科目 ●外国語科目 ●導入教育科目 			
専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●経済学入門 ●初級ミクロ経済学 ●初級政治経済学 ●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門 ●イノベーション・マネジメント入門 			
専門教育科目	<p>Pick up</p> <p>イノベーション社会論 ICTの革新に伴うコミュニケーションの変容や社会変動等の様々な社会現象を関連づけながら、社会学の観点からイノベーションの社会的・文化的な諸条件やプロセスを明らかにし、今後の政策的・実践的方策や社会システムのあり方を考えます。</p>	<p>Pick up</p> <p>市場開発論 市場開発に関する理論と実践を学習し、市場開発の基本的理解を踏まえ、新たな市場を創造する際の課題を分析する基礎的能力を習得します。</p>	<p>Pick up</p> <p>イノベーションの経済学 どのような経済の仕組みがイノベーションを引き起こし、また逆にイノベーションがどのように経済の仕組みに影響を及ぼすのかを学習します。あわせてイノベーションについて経済学者がどのように考えてきたのかを学習します。</p>	
	<p>専門教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品開発論 ●市場開発論 ●研究開発マネジメント論 ●ベンチャー起業論 ●社会調査法 ●イノベーション社会論 ●現代社会分析論 ●イノベーションの経済学 ●イノベーション学説史 ●進化経済学 ●制度の経済学 ●R&Dの経済学 ●ゲーム理論 ●都市イノベーション論 など 			
	●中級セミナー		●演習	
	●サービス現場のフィールドワーク		●インターンシップ	
	●学部共通科目			
	●卒業論文			

専門教育科目

イノベーションと経営分野

アントレプレナーシップ入門／大分ものづくりと地域づくり／製品開発論／市場開発論／組織革新論／研究開発マネジメント論 I・II／ベンチャー起業論／金融イノベーション論／イノベーション戦略論／ベンチャー実践論／ビジネスモデル論／ブランド論

学びの内容 社会における新しい価値の創造の核となる企業経営上の革新を主な対象として、イノベーション・マネジメント、製品・サービス開発、アントレプレナーシップなどに関する教育研究を行います。

イノベーションと社会分野

社会調査法／イノベーション社会論／現代社会分析論／イノベーション科学技術論／ソーシャルイノベーション論／NPO・NGO論／技術革新論／知的財産論

学びの内容 企業経営上の革新の手法が適用された公共部門における社会的な価値の創造について、地場企業・NPO等との協働・連携を視野に入れてソーシャルビジネスや社会調査に関する専門的な知識やスキルを習得し、地域社会の現場からの課題探求型学修を基礎とした教育研究を行います。

イノベーションと経済分野

ゲーム理論／進化経済学 I・II／イノベーションの経済学／イノベーション学説史／制度の経済学 I・II／R&Dの経済学／都市イノベーション論／組織と情報の経済学／商取引の経済学

学びの内容 イノベーションの理解に関わる経済学からのアプローチとして、イノベティブな組織を構築するための制度や規制、地域や国全体の潜在能力を開花させるような政策を理論的に分析するため、ゲーム理論、制度の経済学等について教育研究を行います。

PICK UP LABORATORY 研究室紹介



中本裕哉ゼミ

研究テーマ
耐久財のライフサイクル分析

中本 裕哉 講師
Lecturer. Yuya Nakamoto

担当科目 経済数学、統計学、社会調査法など

近年、急速に普及が進むハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)は、従来のガソリン車(GV)と比べて環境に良いといえるでしょうか。この問いには、製品の資源調達→製造→使用→廃棄といったライフサイクル全体の環境負荷を勘定しないと答えることができません。例えば、EVが走行時のCO2排出はゼロです。しかし、その走行に必要な電気の発電時には(再生可能エネルギーでない限り)CO2が排出されます。また、EVはバッテリーを積載しているため、製造時においてGVよりも環境負荷が大きいことも忘れてはなりません。このようなライフサイクル全体における環境負荷を考慮した上で、低炭素社会の実現に向けた耐久財の消費行動に注目しています。



幅広く学ぶ中で、
興味を持てる分野を発見



イベントへ興味ある
企業に繋がります

Mei Yasaki
山崎 芽唯さん

経済学部・経営システム学科 4年(大分県立大分商業高等学校出身)

大分大学を志望したのは、高校時代に受けた高大連携授業で教授や先輩方と直接関わったのがきっかけです。チームごとにテーマを決め、研究し、発表するという“チーム主体で活動する過程”がとても新鮮でした。商業高校だったため、一般入試での受験が難しく、AO入試と推薦入試を受けられたことも志望理由の一つです。

経済学部のよいところは、所属学科が決まっていなくて1、2年時に経済学の幅広い分野を学び、そこで興味を持った分野や将来の夢につながる学科を3年時に選択できることです。私もはじめは地域発展や、簿記に関心がありましたが、2年時のゼミをきっかけに経営学に興味を持つようになり、現在は経営学に関する様々な理論を学んでいます。経営学で学んだ理論は、組織の一員として活動するにあたって直接関係するものばかりなので、日々の活動や社会でそれをどのように活かせるのかを考えるとより深く理解でき、楽しいです。

大学では、これまでの与えられたものをこなす学生生活とは違い、自分で情報を得たり、選択したりするシーンが多く、自ら考え、判断する力が付いたと感じています。また、人前で話す機会が増えたことで自分に自信が付き、考えたことを端的に伝えることができるようになりました。

卒業後はエンタメに関わる仕事がしたいと考えています。幼いころからテレビを見たり、アイドルを応援したりすることが好きで、エンタメは人生を彩るうえで、不可欠なものだと感じていました。エンタメ業界を盛り上げ、人や社会に勇気や感動を与えたいと思っています。

MESSAGE
在学生メッセージ



留学や様々な出会いを通して
将来の目標が決まった

Ban Kojiro
伴 洸次郎さん

経済学部・経営システム学科(2021年3月卒/愛知県立小坂井高等学校出身)

私は大学生活中に留学をするという夢を持っており、当時の自分の学力と、留学費用を考え、奨学金制度等がしっかりした大分大学を選びました。経済学部を志望したのは、IBPプログラムという独自の留学サポート制度に興味を持ったからです。

留学前は、英語はもちろん、留学の際、成績上位5人に支給される「JASSOの奨学金」の獲得を目指し、とにかく勉強に追われる日々でした。留学後は、ゼミを担当していた碓先生の授業を受けていくうちに、自分自身でビジネスをやってみたいと考えるようになり、そのために必要な知識や考え方を学んでいます。

将来はスペインのサンセバスチャンという街へ行き、「食」について学びたいと思っています。そして、そこで学んだ事を活かして事業を起こし、大分の「食」分野に貢献すること、生産者や飲食店経営者といった大分の「食」に携わる人たちの中心で活動することが目標です。現在、居酒屋でアルバイトをしているのですが、そこでも、店主や、様々な年代、立場のお客様から多くのことを勉強させてもらっています。

このように将来の目標が決まったのは、大学での様々な経験があったからです。留学や、友達、先生方との出会い・コミュニケーションを通して、将来について「自分は何がしたくて、どう生きていきたいか」「それを実現させていくにはどう行動に移していけばいいのか」など真剣に考えるようになりました。

大分大学には、想像もつかないような面白い事がごろごろ転がっています。それを手に出来るかは、あなたの行動次第です。まずは受験勉強を頑張って合格を勝ち取って下さい。

大分労働局

佐伯労働基準監督署 監督課 勤務



大学時代の経験全てが

仕事に生かされています

[経済学部 地域システム学科卒業]

Manami Hori

堀 真奈美さん

(大分県立大分西高等学校出身)

大分大学へは、地元である大分を活性化させたいとの思いで入学しました。経済学部の地域システム学科を志望したのは、地域社会活性化のため、地域社会が直面する様々な問題について学ぶことができるということを知ったからです。

現在は労働基準監督官として、大分の人々が安心して働ける職場環境を実現するために、労働基準関係法令に基づき、事業場や建設現場等に立ち入り、必要な指導を行い、労働条件の確保・向上と、働く人の安全や健康の確保ができるよう取り組んでいます。監督指導を通じ、職場の労働環境が改善されたときは、労使双方の役に立てたと嬉しく思いますし、働く人の権利が実現され、事業主からも信頼してもらえたときは大きなやりがいを感じます。

大学生活での授業やアルバイトの経験全てが現在の仕事につながっていると感じています。在学中に受講した労働関係法の授業で、労働とは何かということを知り、アルバイトで実際に働くという経験し、職場の労働環境が仕事をする上でどれだけ重要なかを実感することができました。生活する中で欠かせない労働という点で、働く人が安心して働けるようにすることも地元の活性化につながるのではないかと考えたのが、現在の仕事である労働基準監督官を目指したきっかけです。

大分大学の経済学部は少人数で、経済学や経営学についてはもちろん、民法や労働法といった様々な分野についてしっかり学習することができます。また、勉強以外にもたくさんの楽しい出来事が待っています。私にも経済学部自治会メンバーで参加した府内戦紙など忘れられない大切な思い出がたくさんあります。

大学では、活躍できる世界が広がり、自分を成長させることができます。4年間という限られた時間を大切に過ごし、多くのことを学び、将来の自分の財産にしてほしいと思います。

大分瓦斯株式会社

供給部大分営業所施設課施設係 勤務



大学生活で磨いた

コミュニケーション能力が武器に

[経済学部 経済学科卒業]

Ryo Tozawa

戸澤 凌さん

(大分県立大分鶴崎高等学校出身)

私は現在、大分瓦斯株式会社の施設課施設係に所属し、主に道路上でのガス工事を担当しています。工場で製造された都市ガスは、地中に埋設されたガス管を通じてお客様の元へ届けられます。この埋設されたガス管の更新工事や、新規敷設工事等の施工管理が主な業務です。また、道路形状変更や、電線地中化等の都市計画においては、主導する行政等と連携しながらガス管の移設工事など、「街づくり」に参画することもあります。大学では街づくりを自主的に学んでいたため、都市ガスというインフラを通じて地元へ貢献できることに大きなやりがいを感じています。

私は大学時代にずっと演奏活動を行っており、他大生は勿論、歳も立場も違う社会人の方々とも演奏する機会が多くありました。その中で特にコミュニケーション能力が磨かれ、それが現在の仕事に生きていていると思っています。ここでいうコミュニケーション能力とは、ただ単に楽しく会話ができることを指している訳ではなく、様々な場所・場面で、自分に求められている言動や居方を考え、あるいは察してそれに応える。こうした立ち振る舞いも、その能力の1つであると考えています。

私たちの仕事は「準備8割」と表現されるほど、事前の準備が重要です。その準備には、行政機関や他企業、他工事担当との打ち合わせ、地域住民への挨拶回り、他部署との連携、工事業者との工程調整など、あらゆる場面で最適なコミュニケーションが求められます。大学時代に磨いたコミュニケーション能力があらゆる場面において大きな武器になっているといっても過言ではありません。

強い動機を持って大分大学を選んだわけではなかった私ですが、大分大学での学生生活を通じて得た様々な出会いが、人生を豊かにしてくれました。今では、大分大学に入学出来て本当に良かったと感じています。

就職実績

■就職率 (令和2年度卒業生) ※就職希望者に占める就職者の割合

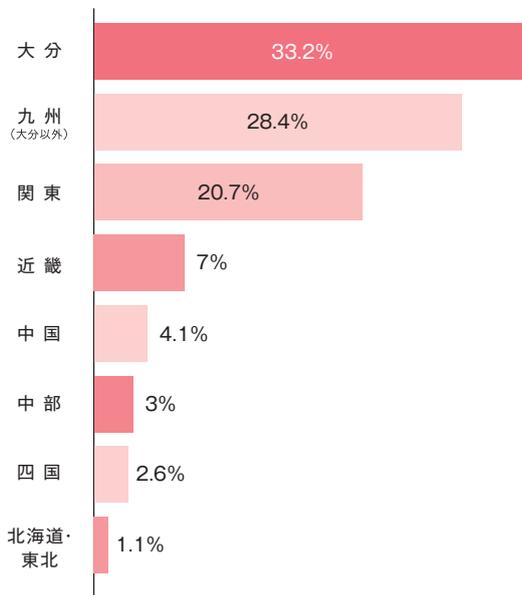


■卒業後の進路 (令和2年度卒業生)

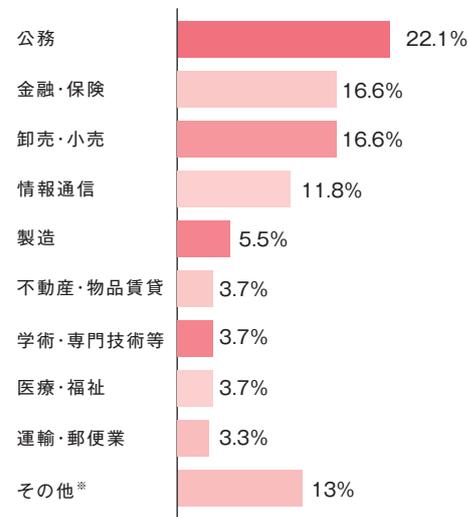


※「進学者」は、大学院・研究科、大学学部、短期大学本科、専攻科、別科に進学した者の数です。

■地区別就職情報 (総数271人対象)



■産業別就職情報 (総数271人対象)



※その他の内訳

「農業」「鉱業」「建設」「電気・ガス・水道」「宿泊・飲食サービス」「生活関連・娯楽」「教育・学習支援」「複合サービス」「サービス」

■主な就職先 (平成30～令和2年度卒業生・修了生)

経済学科

(独)住宅金融支援機構、(株)りそな銀行、楽天銀行(株)、(株)大分銀行、大分みらい信用金庫、エース証券(株)、大分県信用組合、日本生命保険(相)、(株)佐伯建設、日鉄テックスエンジ(株)、昭和電工(株)、日本製鉄(株)、西日本電線(株)、九州電力(株)、NTT西日本(株)、(有)大分合同新聞社、沖縄テレビ放送(株)、JR西日本(株)、日本通運(株)、FedEx Japan、JR九州商事(株)、トラスコ中山(株)、大分ゼロックス(株)、(株)ファーストリテイリング、JR九州ホテルズ(株)、(株)JT B、JAグループ、日本郵便(株)、東京国税局、大分労働局、大分県庁、大分市役所 他

地域システム学科

(株)日本政策金融公庫、(株)西日本シティ銀行、(株)大分銀行、(株)豊和銀行、大分県信用組合、野村証券(株)、東京海上日動火災保険(株)、大和ハウス工業(株)、(株)極洋、(株)湖池屋、ダイハツ九州(株)、べんてる(株)、クリナップ(株)、(株)NTTデータMSE、(株)RKKコンピュータサービス、(株)オーイーシー、郵船ロジスティクス(株)、伊藤忠エネクス(株)、国分グループ(株)、ヤマエ久野(株)、(株)トキハ、(株)エフ・ティー・シーホテル開発、(株)ゼンリン、JAグループ、日本郵政(株)、九州厚生局、福岡国税局、大分労働局、大分県庁、佐賀県庁、大分県警察、大分市役所、大分市消防局 他

経営システム学科

日本銀行、日本政策金融公庫、(株)西日本シティ銀行、(株)大分銀行、(株)宮崎銀行、丸三証券(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)一条工務店、梅林建設(株)、エスピー食品(株)、カバヤ食品(株)、霧島ホールディングス(株)、凸版印刷(株)、久光製薬(株)、RYOBI(株)、三菱電機(株)、NEC(株)、九州電力(株)、(有)大分合同新聞社、(株)オービック、モバイルクリエイイト(株)、ANA福岡空港(株)、西日本鉄道(株)、(株)アステム、(株)内田洋行、三菱食品(株)、イデア総研コンサルティング(株)、(株)船井総合研究所、(株)阪急交通社、国土交通省、大分県庁、大分市役所、大分県警察 他

社会イノベーション学科

日本年金機構、(株)豊和銀行、大分県信用組合、アド印刷(株)、(株)極洋、九州電力(株)、(株)RKKコンピュータサービス、(株)ジャパンエフエムネットワーク、(株)現場サポート、(株)西日本新聞社、(株)地域科学研究所、大分バス(株)、福岡運輸(株)、アイティーエックス(株)、ジューテックホールディングス(株)、国分九州(株)、大同興業(株)、JR九州リテール(株)、リコージャパン(株)、(株)トライアルカンパニー、(株)ネクステージ、(株)ヒマラヤ、第一交通産業(株)、JR九州ホテルズ(株)、福岡ソフトバンクホークス(株)、大分労働局、陸上自衛隊、愛媛県庁、大分県庁、長崎県警察 他